

新宮山彦ぐるーぷ第2079回

## 行仙宿の整備と状況確認

◇実施日：2020年5月6日（水）晴後小雨

◇参加者：梶野照雄

1名

毎年、連休の最終日に行仙宿へ登っているのですが、今年も最終確認に行った。例年だと降りてくる小屋番のメンバーと途中で出くわすのだが、今年はそれも無い。

10時少し前に登山口に到着、車が一台停まっていた。よく見ると中前さんの車だった。もう登っているらしく、姿は見えない。



中前さんの車が



元気に泳ぐ鯉のぼり



針金を切る

今日は、先日工事した行仙岳北側の段差を針金で補強する予

定なので、時間短縮のためモノレールを使う。  
10時半、行仙宿に到着。鯉のぼりが元気に泳いでいるが人影は無く、ひっそりしている。入り口を入ったところにザックが二つ置かれていた。



ツツジの競演



針金で固定

倉庫で番線を探すが見つからないため、トイレの西側にあった針金を切って行仙岳へ出発。奥駆道沿いはツツジが見頃を迎えており、何枚も写真を撮ってしまう。

20分ほど歩いたところで、降りてきた中前さんと出会った。娘さんと二人で行仙岳まで行ってきたそうだった。

行仙岳は山頂を通らず捲き道を選択、捲き道に大きな障害は無かったが、強いて言えば一ヶ所だけ崩れかけている所があった。段差の一番下迄降りて、杭と栈木を針金で固定する。

焼きなましをしていない針金なので、曲げる・締めるが非常にやりづらく、少々時間が掛かった。持ってきた針金全部を使って、13ヶ所を固定した。まだ固定したい個所が30位あるので、番線を用意して再工事を行いたい。

12時を少し過ぎていたが、雲行きも怪しくなってきたので、小屋に戻って昼食にすることにした。捲き道の分岐で、外れていた道標をネジ止めしたが、木材が腐っているので更新が必要だ。



針金で固定

捲き道の標識付け直し

12時半を過ぎて行仙宿に戻る。小屋には誰もいなかった。中前さんは、すでに下山したようだ。

お湯を沸かしてゆっくり昼食、食後にコーヒーを淹れ、持ってきた柏餅を食べる。二つ残っていると思っていたが、パックを開けると三つあった。無理やり腹に詰め込んだが、ちよつと食べ過ぎたと思う。

トイレ照明のスイッチを交換、外してみるとかなりサビていた。新しいスイッチには、アクリル板で雨除けのカバーを付けた。

予定作業が全て終わったので、下山準備。荷物をまとめて靴を履こうと屈んだ時に、玄関わきの棚下にインパクトドライバーのケースを見つけた。前回に続き今回も倉庫を探し回って見

つけられなかった。こんなところに入れてあったとは。再び倉庫を開けて、インパクトドライバーを収納した。



トイレ照明のスイッチを交換

インパクトドライバーは倉庫に

雲は厚くなってきたが、雨はまだ降りだしてはいない。持ってきた傘を手には下山する。モノレールを使ったので、ちょうど25分で登山口に着いた。

毎年連休の最終日はそれなりに通行量が多いが、今年は外出自粛要請もあってか、通行量は極端に少ない。接触を避けるため、帰り道もコンビニに立ち寄る事無く走り続けた。雨は川上村の一部で降ったが、吉野町まで来ると路面は乾いていた。

(記：梶野)

### 行動タイム

10:00登山口→10:29行仙宿→10:40→11:19行仙岳北11:58→12:09捲き道分岐→12:38行仙宿14:00→14:25登山口

